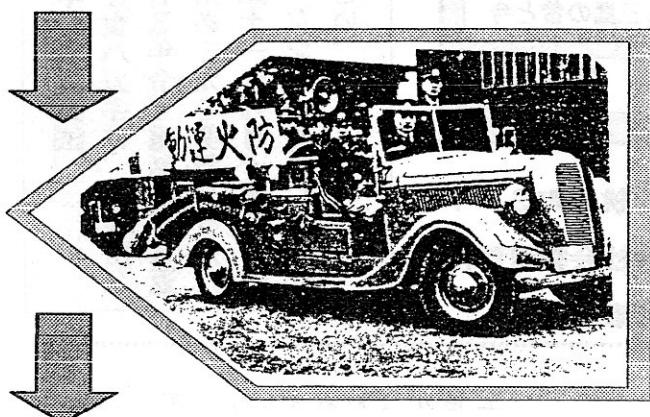
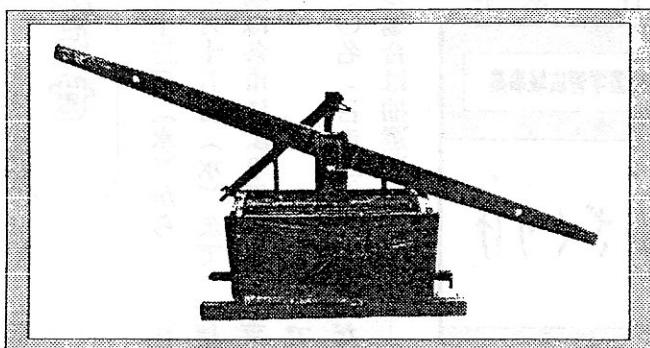
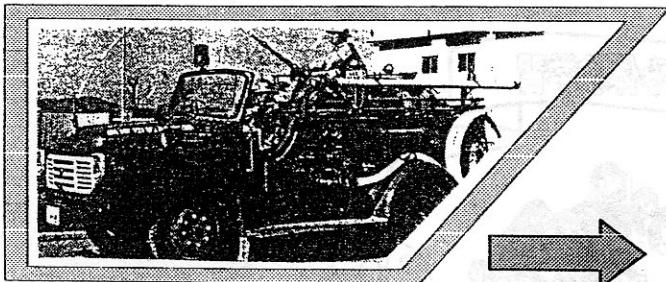


摂津なつかし写真館



昭和四十一年、開署当時の消防自動車



龍吐水

○小型の消防ポンプ車の普及以前は、龍吐水（りゅうとすい）が村の消防活動の主力装備でした。龍吐水は江戸時代後期にオランダから伝来し、ただちに国産化されます。

郷土摂津 いにしえ通信

第17号

平成十一年九月一日

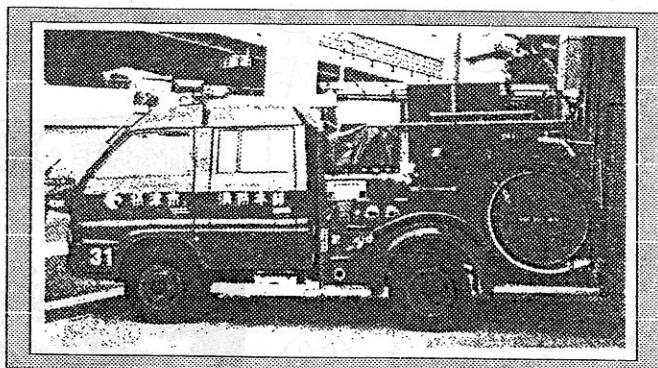
発行

摂津市三島一丁目一番一号
摂津市教育委員会

生涯学習部 生涯学習課

昭和二十五年当時、味舌町
消防団唯一の消防ポンプ車

現在の消防ポンプ車



昭和十四年から、消防・水防・防空を担当してきた警防団が解体され、代わって本市四力村でも、二十二年八月以来、ついで消防団が設置されました。しかし、団員はすべて非常勤であつたし消防施設も円滑な消防活動など期待せんませんでした。

できるような体制ではありませんでした。二十五年当時、ポンプ付自動車を備えていたのは味舌町だけで、他の村では手曳ポンプと腕用ポンプしかありませんでした。味舌町でもガソリンの配給が少ないので消防訓練もまともにできませんでした。

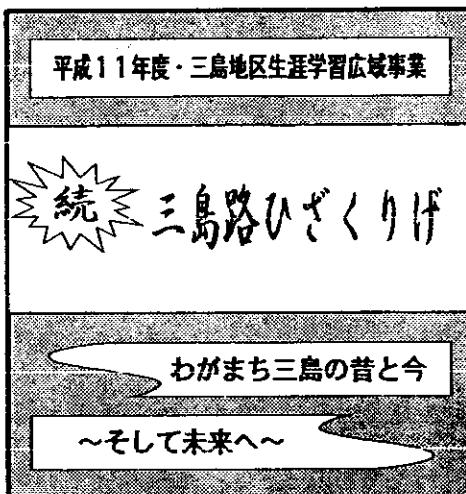
内容と日程

| | | |
|--------|-------------|-----|
| 10月13日 | 説話・茨木童子 | 茨本市 |
| 10月19日 | 慈持寺縁起絵巻について | |
| 10月27日 | 三島に流れる時と水 | 吹田市 |
| 11月4日 | 地場産業の現代 | |
| 11月10日 | 水無瀬荘について | 島本町 |
| 11月15日 | 島本の民俗について | |
| 11月24日 | 摂津市の石造物 | 摂津市 |
| 12月1日 | 摂津市域の昔の暮らし | |
| 12月8日 | 「寺内町富田」の歴史 | 高槻市 |
| 12月15日 | 縦体天皇と三島 | |

○講座時間はいずれも午後2時から4時。

三島地区（島本町・高槻市・茨木市・摂津市・吹田市）に在住・在勤で全十回参加可能の方。

【とき】十月十三日（水）から
十二月十五日（水）まで
【ところ】会場は各市により異なり
ます。
【定員】一〇〇名（各市二十名・
し込み多数の場合は抽選）



番569-0067 高槻市桃園町2-1

高根市教育委員会社会教育課内

三島地区広域事業事務局

申込方法
往復ハガキに、上住所2
氏名3年令4電話番号5返
信用あて先を明記のうえ、
平成十一年九月十四日必着
で、左記までお申し込みく
ださい。

土笛がとても
きれいで、日本
によかった。
今日は、
おつかれ

“と思ひ出になりましたよがたであります。
ねんとがうまくできつたうれしかった。
ぶえびじつおにできつたよがた。

○○○

竹打

川端 康平

おちふえがで
さてされいかつたよ

土笛がこわれてしま、たかなど不安だ、たけと成功していくうれしかった!

A M

作、てい3時めちんくちゅ墨が3つ。HT

土管を用ひて、土管の上に砂利を撒いて、その上に土を撒いて、土を踏んで、土がえぐれるのを待つ。F.A



○七月二十五日と七月三十一日の二日間別府公民館で夏休み体験学習講座が開催されました。

郷土史コリナ

戦後の味舌教育史

第二次世界大戦敗戦後、田本國憲法が公布されました。

ので、その財源ねん出に四苦八苦をしました。

従来の複線型にかわって単線型の六・三・三・四制の新学校制度による教育体系が樹立されました。とくに小学校・中学校の九力年は義務教育期間とされました。

味舌小学校は再発足の二年以來、校舎が狭く二部制授業の実施を余儀なくされていましたし、そこへ中学校の併設がおこってきたため、二十四年九月に旧私立千里丘学園高等女学校の敷地を買収し、二十五年一月九日に味舌小学校千里丘分校が開校されました。一月九日を記念して、千里丘小学校の創立記念日となつています。六教室を小学校に、残りの六教室を養精中学

は千里丘小学校内に開校しました。二十六年七月、現在の千里丘三丁目に新築独立校舎ができたので移転し専任校長も赴任しました。

なりました。二十六年三月には学校法人に組織を変更しました。

二十二年三月に千里丘学園

現在の二里丘小学校の敷地内でした。約一五〇名を入学さ

二十二年四月の新学制施行に

二十二年四月の新学制施行にあたり、旧高女一年終了者を新制中学二年生として再発足しましたが、二十一年からの銀行預金封鎖の影響で資金繩

りが思うにまかせず、ついに
苦境に陥り廃校となりました。

二十四年九月、校舎を味舌村に売り渡しましたが、二十五

年四月から千里丘学園幼稚園を設立（吹田市新芦屋）して現在に至っています。

卷之三

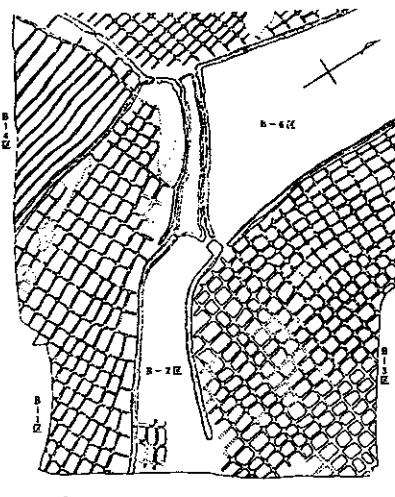
※今日で「味舌の歴史」を終
わります。

摂津市史」より 担当（茗荷）

その一つに同じく高崎市に所在する日高遺跡が挙げられます。関越自動車道が通る範囲において道路工事にさきだち発掘調査が実施されました。上層には浅間山の噴火による軽石層に埋もれた平安時代の水田が広がり、さらに下層に弥生時代の水田の存在が確認されました。

その結果、東と西の低台地

一九七三年は、近年の水田遺構発掘ブームの幕が切つて落とされた年だと言われます。群馬県高崎市大八木遺跡で、浅間山の噴火により埋まつた平安時代の水田が発掘され、その後全国でたくさんの水田遺構が発見されるに至りました。



↑ 群馬県御風呂遺跡水田平面図

○大畦畔で囲まれた大区画のなかに小畦畔を配して、長辺二メートル前後の長方形小区画で細分する水田が何枚も検出されました。古墳時代水田を考える上で興味深い資料です。

以前紹介しました登呂遺跡の水田跡は、畦畔で区画された大規模なもので、これまで抱いていたイメージとは大きくかけはなれるものでした。概して平坦地に水田を作ると

にはさまれた谷地形に、南北二〇〇メートルにわたり大小さまざまな形をした水田が四十面以上発見されたのです。

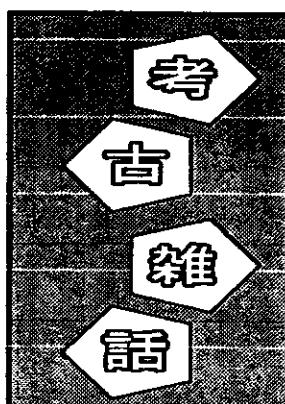
第12回浜田青陵賞記念シンポジウム

飛鳥びと瓦なにをみたか

第12回受賞者

上原真人民 浜田青陵賞記念シンポジウム

受賞理由 瓦と木器から日本古代を追求する



第17回

飛鳥びと瓦なにをみたか

【とき】九月十一日（土）午後一時から
【ところ】岸和田市立文化会館
マドカホール
【参加費】無料 先着五〇〇名
【申し込み】往復はがきに住所、
氏名、電話番号を記入のうえ申し込み。

【宛先】⑤五九六一八五一〇
岸和田市岸城町七番一号
岸和田市教育委員会郷土資料室
「青陵賞」係

【ち】直弧文（ちよっこもん）
○古墳時代に発達し曲線・直線から成る日本特有の文様。
○直弧文の研究は、浜田耕作によりはじまり命名される。
その後、小林行雄が、柳障や石棺、鹿具などに例をもとめて新しめに研究を発表する。
○その文様や意図まで精緻におよび、直弧文が単純な文様でなく一定の構図と規則的な連続法が支配する「形の言葉」として認知されることになる。担当（伊部）